

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択(卒業 / 保育士)		
授業科目名：暮らしと環境					単位数：2単位 (半期) 講義		担当教員名：高橋努	
英語表記：Daily-Life Environment							担当形態：単独	
ナンバリング：1009								
科 目／系 列			／教養科目					
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目			／外国語、体育以外の科目					
【授業の到達目標及びテーマ】								
1. 現代社会の暮らしや生活と、親と子を取り巻く環境について探求し、その意義を理解できる。								
2. 地域社会に根づく暮らしや環境が子どもの育ちに与える影響を理解できる。								
3. 講義や現地調査で得た知見を発表し、自らの考えを説明することができる。								
【授業の概要】								
親と子を取り巻く暮らしや環境について理解するためには、「地域」や「生活」そのものを理解しようとする必要がある。そのため、本講義では歴史・社会・自然・文化といった様々な視点から地域における生活から、そこに住まう人々の暮らしと環境を分析し、生活に及ぼす影響、特に子どもの育ちに及ぼす影響について考察を深めていく。								
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】							関連性	
【知識・理解・技能】								
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。							○	
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。								
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。								
【思考・判断・表現】								
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。							○	
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。								
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。								
【関心・意欲・態度】								
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。							○	
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。								
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。								
【授業計画】						【授業時間外の学習】		
第1回：オリエンテーション・本講義の目標と概要説明						・本授業では「暮らし」をテーマに扱う。日常の生活を題材に、調査研究活動を行うため、意識的に情報収集などに努めること。		
第2回：暮らしを理解する①「住まい」から考える								
第3回：暮らしを理解する②「地域」から考える								
第4回：研究テーマの設定とグループ分け								
第5回：見学・現地調査①に向けた準備						・現地調査にあたり各回1～2時間程度の事前準備を要する。		
第6回：見学・現地調査①（大学キャンパス）								
第7回：見学・現地調査①の振り返り／②に向けた準備								
第8回：見学・現地調査②（羽生市内外の公共空地等）						・調査レポート及び最終レポート並びにグループ発表にあたり、文献調査や資料の分析を行う（課題ごとに3時間程度）。		
第9回：見学・現地調査②の振り返り／③に向けた準備								
第10回：見学・現地調査③（羽生市内外の公共空地等）								
第11回：見学・現地調査③の振り返り／全体振り返り								
第12回：見学・現地調査結果の整理と分析								
第13回：報告資料の作成とプレゼンテーションの準備								
第14回：調査研究成果の発表（プレゼンテーション）								
第15回：総括								
定期試験：なし								

【授業の方法】 講義、見学・現地調査（各自で移動できることが条件）・個人及びグループによる発表をして、フィードバックを行う。	
【テキスト】 講義の中で紹介する。	
【参考書・参考資料等】 笹尾和宏「PUBLIC HACK：私的に自由にまちを使う」学芸出版社，2019.	
【学生に対する評価】 レポート（30%）、グループ発表（30%）、授業内課題・参画度（40%）を総合的に評価する。 ※レポート（2,400文字を基準とし、教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにルーブリックを活用する。）	
【履修上の注意】 本授業は、集中講義期間に開講する（具体的な開講日は掲示板にて確認すること）。主に羽生市内外での見学・現地調査を行う（各自が交通手段を使って集合し、参加できることを履修条件とする）。見学・現地調査の詳細は、オリエンテーション時に説明する。一部で材料費などが必要となることがある。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	